



羽村市の動画広報について

羽村市では、平成5年10月1日から「テレビはむら」を開局し、約30年間動画広報に力を入れてきました。今では、SNSの誕生により、動画広報の価値が高まっており、ほとんどの自治体で動画広報を行っていますが、羽村市がこれまで受け継いできた動画広報の制作スキルや質は、他に誇れるものになっています。

また、平成29年に多摩ケーブルネットワークでの放送に加え、「YouTube 羽村市公式動画チャンネル」を開設し、今年度からは収益化を始めました。

今後も動画広報による「伝わる広報」の充実を図っていきます。

動画広報の活用

- ・各 SNS との連携がとりやすい

例：Twitter・Instagram・YouTube 等

- ・全世界に情報を発信することができる

例：Twitter・Instagram・YouTube 等

- ・情報を簡略化しやすい

例：二次元コードの利用など

- ・様々なターゲットに合わせて情報を伝える方法を変えることができる

例：①マイナンバー②いいとこ、はむら。③バス旅④羽村百景⑤事業者を応援 等



- ・スピード感を持った広報活動を行うことができる

例：①皆既月食②Fly for all



- ・自治体に興味を持っていない人にも情報の内容で興味を持ってもらえる

例：鳥谷敬×田中大貴トークショー



- ・出来事を映像資料として保存しておくことができる

例：歩道橋撤去工事



- ・行政情報を映像で発信することができる

例：①ごみの出し方②ウクライナ③コロナ



最近のテレビはむら

令和4年11月15日から11月30日放送 No. 1477

◆お知らせ

- ・市有地売却物件情報

（市有地を売却するための紹介動画を制作しました）

◆シリーズ

- ・サステナブラはむら（仮）チャンピオン編

（リポーターがボクシングに挑戦しながら、羽村市在住のプロボクサーを取材）

◆エンディング

- ・『皆既月食』ダイジェスト ver.

（442年ぶりの貴重な光景を映像に収めました）

